

保健婦雑誌 第20巻 (1964年) 総目次

Vol. 20 No. 1

グラビヤ、団地に育つ 二つの共同
保育園

読者からの手紙、保健婦の倫理綱領
を作ろう・中島紀恵子

インタビュー、勝沼晴雄先生に聞く
これからの公衆衛生活動と保健婦
私のいづく保健婦像

なんでも屋からの脱皮・赤井和子
大きく手をつないで進もう・佐藤
房 流れる川のように・富山明子
民衆の前を民衆とともに・村田昌
子 地域・職場の信頼から・坂本
玄子 いつも弱い者の味方・はや
し秀 住民の要求に密着して・野
瀬善勝

ていだん、保健婦の働き方をめぐっ
て、ケースワークとグループワー
ク・渡辺もとゑ・橋本秀子・田中
恒男

働きよい体制づくり

保健婦課設置のめざすもの・花田
みき 総括保健婦制度を施いて・
前谷キミ

研究・報告、農村における地区組織
の活用・西林雅子

医療保障講座、わが国の社会保障の
あゆみ・吉田秀夫

保健婦教育訓練についての答申案を
考える・益子フサ

衛生教育における視聴覚的方法・詫
間晋平

保健婦業務を分析する・2・村江通
之

Medical hi-lite, Speech Therapy
堀口信夫・赤司正子

ぶっくがいと、統計・小泉明

社会の窓、ケネディ暗殺の背景・野
口肇

保健婦風土記、豊富な資源を活用し
つつ・静岡県

学生ノート、保健婦に何を求めたか・
坂本栄子

Vol. 20 No. 2

グラビヤ、新しい農村を私たちの手
で

読者からの手紙、笑って泣いて9カ
月・長幡順子

特集、面接と保健指導

カウンセリングの展望・伊東博
患者との面接をどうするか・小島
謙四郎

面接の訓練・仲村優一

私の面接の工夫・山口絢子

私たちの面接の工夫・石川島播磨
重工健保組合

座談会、心にかかる私のケース

私のいづく保健婦像

専門保健婦と駐在制をミックス・
浜利子 考える保健婦へ・渡辺き
く 地域社会全体の組織者・渡辺
春江 豊かな経験と高度の知識
を・橋本勢津 組織図に夢をの
せて・三沢博人

研究・報告

Cornell Medical Index の利用・
深山智代 社域社会における Co-
rnell Medical Index 実施結果の
検討・岸洋子 現代保健婦学生の
意識・小山悦

医療保障講座、わが国の社会保障の
あゆみ・吉田秀夫

Medical hi-lite, ストレス・田多井
吉之介

ぶっくがいと、患者心理・栗栖瑛子
社会の窓、曲りかどの農業・野口肇
保健婦風土記、内海から日本海へ・
兵庫庫・仙賀ますみ

学生ノート、人間相互の信頼と愛情
関根美美子

Vol. 20 No. 3

グラビヤ、進歩する医学・メディカ
ルエレクトロニクス

読者からの手紙、猪突猛進型からの
脱却を・赤井ミヨ子

特集・活動評価

保健指導をどう評価するか・樋口
治子

どう評価をひきだすか・中島紀恵
子

実践への反応のなかで一乳児保健
指導の評価・小林ゆき

業務内容の数量的扱い方・橋本秀
子

精神障害者の調査一昭和38年精神衛
生実態調査と過去の調査・大谷藤
郎

精神衛生都市とその後半年の歩み・
佐藤壱三

沖縄の長寿者・長田紀秀

新任保健婦の教育、職場内教育の現
状と問題点・内田靖子・野沢園子
松野かほる

ていだん、一人だちさせる苦勞一送
りだす側迎える側は発言する・安
藤ナツ・杉本房子・松野かほる
(司会)

研究・報告、島から島への活動の中
で・玉木すみえ

Medical hi-lite, タバコと肺ガン・
水原春郎

ぶっくがいと、美術・石崎浩一郎
社会の窓、仏中復交と日本・野口肇
保健婦風土記、輝く農村保健婦事業
の伝統・山形県・結城エク

学生ノート

うれしかった指導が実ったとき・
一瀬博子 職場にのぞむにあたっ
て一保健所実習より・今井浩子

Vol. 20 No. 4

グラビヤ

'64年東京の道路

診療と健康管理の病院—佐久総合病院

新しい芽、魅せられたる魂・由起しげ子

特集・現代の保健婦

公衆衛生活動と保健婦の役割・斎藤潔

私にみる現代保健婦のなりたち・田島基

魅力ある職業への道・須田節子
なぜ私たちはゆれ動く・船橋恵子
座談会、都市保健婦の現実と明日・滝本みやゐ・野田美保子・佐藤悦子

制度からみた保健婦像・井上幸子
社会保障の谷間をうずめて・丸岡秀子

ルポルタージュ、農村医学のメッカ—佐久総合病院・水野肇

ヨーロッパ精神病院のリハビリテーション・井上正吾

心にかかる私のケース、見捨てられている開拓地の人びと—保健婦の善意だけでは解決はない—平野井信子

研究報告、島根県川本町の訪問業務の検討・百田百合子・伊藤淳子
医療保障講座、わが国の社会保障のあゆみ/6・吉田秀夫

読者からの手紙、看護学生の保健所実習の記録から・中川和子

声、保助看法改正案のねらいはなんだろうか・星知子
保助看法改正の前進面とその裏にひそむ危険性・今井浩子

ショート・ルポ、母親で運営される学校保健室

Medical hi-lite, 宇宙医学 Space Medicine・大島正光

社会の窓、車をもった教師・野口肇
保健婦風土記、よいと思ったことはすぐにやる・大阪府・石田吉子
学生ノート

ふと気づいた業務のマンネリ化・須田ます美
しみじみ感じた人間

のあたたかさ・服部素子

Vol. 20 No. 5

グラビヤ、ワクチンの製造から検定まで／経口生ポリオワクチン・山形操六

読者からの手紙、現在の保健婦業務に疑問を感じる・村山正子

特集・予防接種の役割

予防接種の問題点を聞く／豊川行平先生との1時間

最近のウイルス病の予防接種・甲野礼作

予防接種の現状と展望・春日斉

予防接種の基礎知識・金子義徳
保健婦活動とその周辺、地域保健と保健婦事業・辻達彦

公衆衛生教育制度答申案に思う・内田靖子

ていだん、保健婦の働き方をめぐって—ケースワークとグループワーク・西山かずえ・杉田千鶴子・田中恒男

研究・報告、農村地域における周産期死亡の実態・相沢瀧・片田玲子
医療保障講座、わが国の社会保障のあゆみ／新医療費体系と保健医総辞退・吉田秀夫

ぶっくがいで、婦人労働・一番ヶ瀬康子

Medical hi-lite, 河川汚染・芦沢正見

びぶりおていく、公衆衛生調査法・心療内科・カナダエスキモー・私はBG

学生ノート、私の考える保健婦・和田みつ

こえ、現場の声を聞いたのだろうか（保助看法改正をめぐって）・河村郁・服部英子
全会員が十分検討した上で（保助看法改正をめぐって）・田中浩子

PHN レーダー、公衆衛生専修士制度は当然お預け・住民は知らない
保健婦の家庭訪問

社会の窓、「国民生活白書から」野口肇

保健婦風土記、雪の中に伸びる芽・青森県・鈴木治子

昭和38年結核実態調査の概要・中沢幸一

目、若い事業所保健婦のグループ—11人の会

国産ポリオ生ワクチン第1号をめぐる問題点・久保全雄

Vol. 20 No. 6

特集・統計を学ぶ

グラビヤ、出生から統計処理まで—人口動態統計の舞台うら

数の効用—統計のうそと真実・田中恒男

健康指標のあれこれ・高樹正浩

医療統計のみかた・前田和甫

病気の数と病人の数・重松逸造

厚生統計ガイド・角田厲作

数をみせる・西真楠

保健婦活動とその周辺、保健婦活動と地区保健診断・水野宏

保健婦のあゆみ、永井久子の死・高橋政子

シンポジウム、駐在保健婦制を検討する

医療保障講座、わが国の社会保障のあゆみ—8—社会保険の若干の改善と医療保険の後退・吉田秀夫
ニュース、39年度看護協会総会に出席して—保助看法改正を中心に

Medical hi-lite, プール熱（アデノウイルス感染症）・中村兼次

びぶりおていく、都市と農村の保健・凶解脳卒中の初期リハビリテーション・小繁事件・光源氏の一生

学生ノート、デイクランプを終えて
中西宏子
保健婦とは何か・和賀弘子

PHN レーダー、精神障害者対策でノイローゼ／新産業都市と都市住民の生活

社会の窓、Vision・野口肇

読者からの手紙、保健婦に魅力を感じて・三浦昌子
こえ、都市形態の市町村・国保について・川田信子

Vol. 20 No. 7

フォーラム、保健婦はなにをしている—3カ年にわたる国保駐在保健婦の活動をめぐって
I 地区駐在3年の活動記録
国保の予防活動に示唆・樋上貞夫
衛生教育と計画的にとりくむ・白戸三郎
実践からの理論づけが不足・土屋夏美
他機関との連携がうすい・手塚ゆき
保健施設は各保険者の任意による・羽賀経子
わたしの感想・戸井田元永・実川道子・山中泰子・大久保幸子
グラビア、ある生活・交通労働者
保健婦活動とその周辺、妊娠と結核・由利富美子
保健婦のあゆみ 永井久子の死（その2）・高橋政子
ある活動、健康相談から健康管理の方向をさぐる・幕内敏雄 働く人たちの健康を守りたい
医療保障講座、わが国の社会保障のあゆみ—9一皆保険プランの推移と新国保法・吉田秀雄
研究・報告、乳幼児の疾病調査・小山国治・田原迫よしゑ
Medical hi-lite, オウム病・北山徹
びぶりにおいていく、患者中心の看護・薬の効用・台湾・生体実験
学生ノート
訪問カバンのこと・石川信子 無医地区に保健婦を・千葉三和子
PHN レーダー、精神衛生法一部改正反対のうごき
社会の窓・野口肇
保健婦風土記、雪の中の訪問・新潟県・増田房

読者からの手紙、臨床にいる友へ・笹森篤子

Vol. 20 No. 8

特集・救急処置

グラビア、救急用器材・自衛隊中央病院
救急処置の意義・藤田五郎
溺水・咽頭の異物・創傷・火傷・藤田五郎
捻挫・骨折・感電・眼の異物・耳の異物・秋葉きぬ子
脳卒中・心臓疾患・痙攣・日(熱)射病・奥田千秋・久場襄
農薬・ガス・睡眠剤・奥田千秋、久場襄
一酸化炭素中毒・猿田南海雄
人工呼吸法・心蘇生法・藤田五郎
止血法・包帯副子法・患者運搬法・秋葉きぬ子
災害・事故に応じた救護・藤田五郎
交通事故における幼児と保育担当者の事故要因・川村佐知子
乳幼児の事故死・小山国治・迫田アヤ・島内ヒサエ
保健婦のあゆみ、永井久子の死（終回）・高橋政子
医療保障講座、わが国の社会保障のあゆみ（終回）医療保障、医療制度の転機・吉田秀夫
保助看法改正のねらい、討議の進む中で再度問題を提起する・渡辺もとゑ
読者からの手紙、どうして保健婦だけをムチ打つのだろう・山本裕子
Medical hi-lite, 肺性心・石川中
びぶりにおいていく、小児看護心理学・家庭看護入門・アメリカの息子 I・II
PHN レーダー、保健所技術職員は充足されているか・専門指導員設置か
社会の窓、スズラン・牛・自衛隊・野口肇

Vol. 20 No. 9

特集・研究会活動の展開

トレーニング・ニーズの発見とその展開法・千々岩勲
フォーラム、事例をもとにした共同検討・正岡和・内田靖子・布谷よしえ・佐竹美鈴・田中恒男
事例I 抄読会
事例II ワーク・ショップ
事例III 見学
連載講座、保健指導の理論と実際 I / 生きている保健指導の対象・田中恒男
保健婦活動とその周辺、変動する農村と保健婦活動・小島武雄
座談会、制度改正への姿勢・大坂多恵子・上村聖恵・清水テル・川上貴美恵・遠藤セツ
ある活動、開拓農民を支えたのは保健婦だった・丸山チエ
関東ブロック公衆衛生看護学会あれこれ・前田アヤ
グラビア、ルポ・へき地の健康調査—信大公衆衛生教室と保健婦学生が協力して
研究・報告、在宅脳卒中後遺症者のリハビリテーション・大西恵子
目、団地の主婦の健康診断
Medical hi-lite, 血清肝炎—黄色い血をめぐる諸問題・松下有二
びぶりにおいていく、シュワイツァー病院・農山村の底辺・団地・権力悪とのたたかい
学生ノート
あなたたちは変わっている・佐藤恭子 しっかり組まれた薪のように・銭田康代
社会の窓、世論調査のからくり・野口肇
PHN レーダー、保健所に関する世論調査
読者からの手紙、働きよくなった保健所・永山静子

Vol. 20 No. 10

特集・現代社会と精神衛生

現代社会と精神の健康・佐藤 彦三
職場における精神衛生管理・梅沢 勉
精神衛生からみた家族関係・小此 木啓吾
精神障害者の心理・小林八郎
家庭における母性保健・村松功雄
小児の成長発達と保健指導・小島 謙四郎
慢性疾患患者の看護・門脇 豊子
保健婦による精神衛生活動の現状・小山節子・泉敬子
精神衛生法改正の動向／精神衛生審議会の中問答申から・大谷藤郎
講座、保健指導の理論と実際2／指導のための接近方式・田中恒男
グラビア、ある生活、ゴム工場の婦人労働者・小西きみ
Medical hi-lite、嫌気性菌食中毒
びぶりおていく、看護研究の方法とまとめ方・あの人は帰ってこなかった・インドで暮らす・トリガー
わが野性の家族
学生ノート、地震とわたし・渡辺千恵子
社会の窓、Olympic 三題・野口肇
PHN レーダ、保健所保健婦はどのくらい活動したか
読者からの手紙、母親たちの姿に学んだもの・星知子
目、自覚をもった会員の声を集めて・保健婦会会長・崎川サン子さん・

Vol. 20 No. 11

橋本正己氏への公開質問状

現状で保健婦は地区のニードにこたえられない・石垣純二
石垣純二先生の質問に答えて
現状打開の原動力は第一線に求め

るしかない・橋本正己

特集・総合的な管理と記録の活用

共同検討、個別管理から総合管理へ・木塚年子・桜井よし
レポート1 記録の現状と将来へ
の方向・木塚年子
レポート2 家族管理票の採用と
その経緯・桜井よし
家族管理票の意義とその活用・内
田靖子
連載講座、保健指導の理論と実際3
指導の過程をめぐって・田中恒男
保健婦のあゆみ、歩みつづける私・
浅敷よし子
ある活動、ビルの谷間の生活・青木
昌子
管内の屋間人口へも保健指導の手
を／ビル街をもつ保健所長・山下
章
新潟地震と救護活動／保健婦が語
る災害の実状・佐藤敏子・磯部彰
子・権平登志子・河路薫
研究報告
農村における蟻虫集団検査（第1
報）／新潟県西蒲郡分水町上山恭
子・志田テル子・富所文子 新生
児訪問指導の効果・中島よ志江
第21回日本公衆衛生学会に出席して
問題は今後に残された・中島紀恵
子 保健婦のイメージ作り・池田
晶子
グラビア、水上生活の人びと
Medical hi-lite、コモンコールドウ
イルス・加地正郎
びぶりおていく、看護研究の方法と
まとめ方・臨床小児神経症・愛と
死をみつめて・されどわれらが日
々
学生ノート
安曇村家庭訪問の経験・野口千代
地震後の救護活動の中で・田村ト
モイ

PHN レーダー、国保・市町村保健
婦の活動状況
社会の窓、原子力潜水艦寄港・野口
肇

読者からの手紙 子どもたちに学校
給食を・合田浩子

Vol. 20 No. 12

特集・国保保健婦

活動の中から

“話せる”若い保健婦に・松島藤
子 地域への未練たち難く・井出
由子 もっと地区へ出てほしい・
佐川ゆき 地域住民の健康が第
1・加藤ハマ子 能率的な仕事を
するには・川田信子 坂道で車を
押し上げるようなもの・関沢あや
看護活動への認識を深めて・小林
富美栄

活動の現状

農村型保健婦から都市型保健婦へ
・中村利三郎 住民の自主性の開
発を志して・栗田美代子 問訪活
動を重視・相谷光子 某市におけ
る保健活動の組織化・富田佳世子
地域保健計画のあり方

科学性と広い視野で住民に密着し
た計画・杉田泰宏 北海道当別保
健所管内の地域保健計画・樋口治
子 地区のニードをどう見つめる
か・釘本完

地域保健活動における医療機関との
連携／保健婦はどうとり組めばよ
いか・小林軍盛

佐久病院の地域保健活動・若月俊一
シンポジウム

医療機関を活用した保健婦活動・
（香川県）・森山正夫（司会）・井原
知子・田淵チヨ子・松田サガミ・
阿賀富恵・原となみ・竹中寿恵・
向井明美・市来修・山田稔

保健婦雑誌第20巻（1964年）総目次